28 年度事務事業評価表(一般用) 050600 2948-8780 当 小手指公民館分館施設提供事業 小手指まちづくりセンター 050605 部 課 開始年度 昭和 年度 終了年度 年度 <mark>クル-フ</mark>公民館分館グループ 6.0 法定受託+附加 事業の種別 白治事務 法定受託事務 社会教育法 第4次所沢市生涯学習推進計画 分野別計画·指針 車 所沢市立公民館設置及び管理条例 関連·類似事業 文化活動支援事業 家庭教育推進事業(社会教育課) 所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則 丵 基本 総合計画の体系 教育・文化・スポーツ 公民館機能の充実 社会教育 方針  $\sigma$ 栶 昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においては、その設置目的達成のため、実際生活に即する教育・学術及び文化に関する 事業開始の背景 各種事業を行うこととされている。 要 目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 集団による各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。 対象(誰を、何を対象としているのか) 平成 26 年度 48,661 人 車 対象数 単位 市民(主に小手指地区)を対象とする。 平成 27 年度 48.726 人 業 事業の具体的な内容及び実施方法  $\sigma$ 内 所沢市立公民館設置及び管理条例第5条に基づき、公民館事業に支障のない限りで自治会、PTAなどの市民集会や社会教育団体等の活動の場として、公民館 施設を提供する。 利用の方法は、窓口申請のほか、平成11年度からは予約システムを導入し、ロビー端末機やインターネットを介して申請を受け付けている。 平成 (千円) 平成 会計種別 -般会計 年度 年度 (千円) 平成 年度 (千円) 26 27 28 予算現額 28,127 25,751 26,598 算 (見込み含む) 22.865 18.908 (非常勤特別職員) (臨時的任用職員 0.20 人) 0.30 人) 財源内訳」について 平成28年度のみ、当初予算 正規職員人件費 1.20 人 1.00 人 10.465 8.660 の内訳となっています 事業費合計 33,330 27,568 -般財源 29.881 29.193 26.598 国·県支出金 その他( 訳 受益者負担金 3.449 3.442 単位 H 26 H 27 H28見込み 将来目標 項日名 項目説明 年間利用可能区分数 1日6区分×部屋×開館日数 15,794 15,888 15,888 16,500 [月曜日は4区分で計算] (公民館) 活動実績 年間利用区分数(公民館) 年間延べ利用区分数 9.333 12,701 13,200 结 9.234 項目説明 単位 H 26 H 27 H28目標値 将来目標 項目名 目標値 80 80 80 80 年間延べ利用区分数 ÷ 年間利用可能 成果指標 年間施設稼働率(公民館) % ьt 区分数×100 宝績 59 🗹 美観」 🗆 美観」 🗆 編小図る 実 績 59 果 どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています 達成率 74 74 目標達成状況 チェックしてください (2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析 (1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください) 事務室の窓に網戸を設置し、冷房の使用を控えた。3階の女子トイレを洋式化して利 ホール、音楽ホールが絨毯敷きのため、また小会議室1・2号が6・7名定員 用者の利便性を高めた。ホールと備品庫の間にあるドアの床の段差を解消し、バリア 善 と手狭なため、使用用途が限定されてしまい利用率が伸びない。 フリー化を図った。ホールの野外非常階段に滑り止め加工をして安全性を高めた。 占 今後、改修等で使いやすい部屋にしていく必要がある。 和室1号の入口に手すりを設置し、バリアフリー化を図った。 □ 縮小 拡大 **V** 継続  $\overline{\phantom{a}}$ 事業実施方法 理由 安心安全に利用できる施設環境を整える。 (複数選択可) 改善 現状 その ☑ 效<u>□</u> 效<u>率化</u> 方今 □他 終了 維持 向後 価 評 性 の □ 拡大 □ 縮小 ☑ 現状 次年度予算 理由 現状の予算の範囲内で実施する (1)平成28年度に取り組んでいる状況 (2)今後の方向性 侕 開館30年が経過し、設備や備品の経年劣化が目立つことから、定期点検を 音楽ホール等からの音漏れに注意し、近隣への騒音対策に努める。 実施し安全な施設環境を保持していきたい。 評価日 H28.8.9 評価者職氏名 小手指まちづくりセンター長 島崎 敬 無 有益な 有害な環境影響 紙の使用 環境影響 を及ぼす原因活動 緊急事態